

# 「もんじゅ」サイトに設置する新たな試験研究炉について

## 2025年度の地質調査結果及び2026年度に向けた調査について

試験研究炉の原子炉設置許可申請に向けて詳細設計を進めるとともに、試験研究炉の建設に必要な地質情報を得るための調査を進めており、今年度は、2024年10月に国土地理院が示した推定活断層に関する情報を得ることを目的とした敷地外調査、建設候補地に関する調査も行いました。

2026年度は、推定活断層にかかる更なる地質調査・分析を実施するとともに、試験研究炉の整備を可能な限り速やかに進める観点から、推定活断層の有無の影響が比較的小さいと考えられる地点について、詳細な地質データを取得してまいります。

### 【2025年度の地質調査実績】

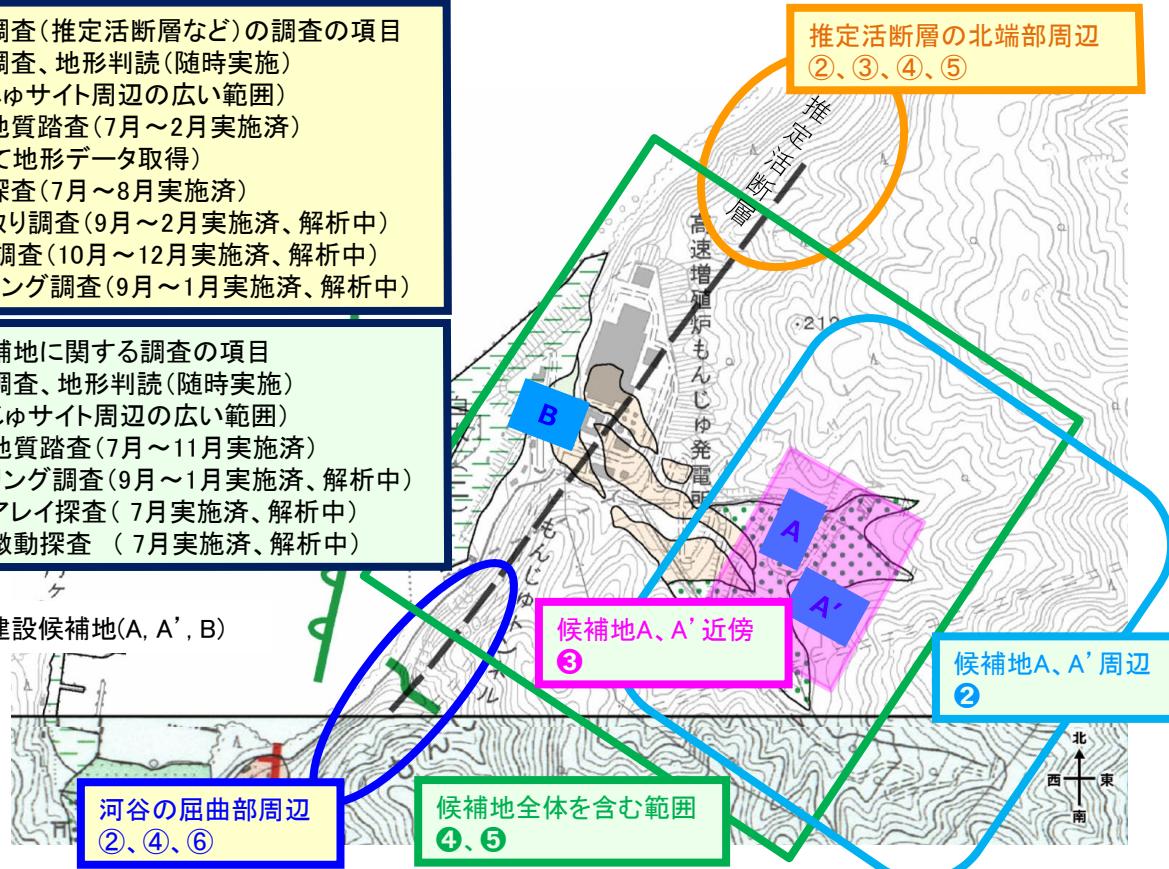
#### 敷地外調査(推定活断層など)の調査の項目

- ①文献調査、地形判読(随時実施)  
(もんじゅサイト周辺の広い範囲)
- ②地表地質踏査(7月～2月実施済)  
(併せて地形データ取得)
- ③電気探査(7月～8月実施済)
- ④剥ぎ取り調査(9月～2月実施済、解析中)
- ⑤ピット調査(10月～12月実施済、解析中)
- ⑥ボーリング調査(9月～1月実施済、解析中)

#### 建設候補地に関する調査の項目

- ①文献調査、地形判読(随時実施)  
(もんじゅサイト周辺の広い範囲)
- ②地表地質踏査(7月～11月実施済)
- ③ボーリング調査(9月～1月実施済、解析中)
- ④微動アレイ探査(7月実施済、解析中)
- ⑤単点微動探査(7月実施済、解析中)

■: 建設候補地(A, A', B)



金田平太郎・石村太輔・堤浩之・中田高・太田凌嘉(2024): 1:25,000 活断層図「今庄」, 国土地理院, および  
金田平太郎(2024): 1:25,000活断層図 柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯及び湖北山地断層帯とその周辺「今庄」解説書, 国土地理院, より引用

#### ●本資料に関するお問合せ先●

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 敦賀事業本部 地域共生・広報課  
〒914-8585 福井県敦賀市木崎65-20

【TEL】0770-21-5026 【FAX】0770-21-2045

原子力機構ホームページ: <https://www.jaea.go.jp>

敦賀事業本部ホームページ: <https://www.jaea.go.jp/04/turuga/>



「敦賀事業本部からのお知らせ」のページはこちら

発行: 2026年3月

[NO.134]

## JAEA 原子力機構 敦賀事業本部からのお知らせ

本号では、主にクリアランス金属の利活用、「もんじゅ」「ふげん」の廃止措置作業状況などについてお知らせいたします。

### クリアランス金属の利活用について

#### クリアランス金属を利活用した「行燈」の製作・設置について

クリアランス制度\*の理解促進・社会定着に向けたクリアランス金属の利活用を促進するための一つとして、「敦賀まちづくりアクションプログラム神楽通り参道化」への協力として「ふげん」のクリアランス金属を利活用した「行燈」フレームを50基製作し、敦賀市神楽町沿道に設置しました。

資源の有効活用、放射性廃棄物量の低減の観点から、このような取組みを継続し、循環型社会の実現に貢献してまいります。



敦賀市神楽通り

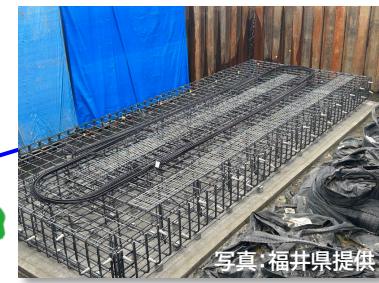
#### クリアランス金属の公共工事への利活用について

資源エネルギー庁と福井県が連携し、県内2箇所の公共工事(南越前町の鯖波大橋(仮称)及び敦賀市松原橋)において、「ふげん」のクリアランス金属を利活用した鉄筋を橋脚に使用する実証事業が実施されました。本公共工事で使用する鉄筋約54トンのうち、「ふげん」のクリアランス金属は約5トン含まれており、クリアランス金属を建設資材として使用するの国内初となります。



敦賀市松原橋 補強工事場所  
(2基の橋脚のうち1基に使用)

写真: 福井県提供



南越前町鯖波大橋(仮称)  
新設工事場所  
(4基の橋脚のうち2基に使用)

写真: 福井県提供

\*クリアランス制度…放射性廃棄物のうち、放射能濃度が低く人体への影響がほとんどないものについて、国の認可・確認を得て、一般の産業廃棄物として再利用又は処分できる制度。1年間に1人当たりが受ける自然放射線(世界平均)が2.4ミリシーベルトであるのに対し、クリアランス制度の基準値は0.01ミリシーベルト以下とされています。



# 高速増殖原型炉もんじゅ

## ナトリウム機器の解体撤去に向けた技術実証について

今後、廃止措置第3段階において実施する主要なナトリウム機器の解体に向けた準備として、4月から比較的小規模で放射化していない2次メンテナンス冷却系設備の解体を行っています。この解体では、配管に残っている少量のナトリウムを安定な化合物である炭酸塩に変化させた上で機器・配管を解体撤去するなど、ナトリウムの安定化や切断技術の実証を実施しています。



ナトリウム安定化処理装置



安定化処理作業中のデータ管理の様子

## 水・蒸気系等発電設備の解体撤去について

廃止措置第2段階の主要作業として2023年7月から水・蒸気系等発電設備の解体撤去を進めており、今年度は、タービン建物内の発電機本体、油タンク、循環水管、給水ポンプ等の解体撤去を計画どおり実施しました。

### 発電機本体



ローター引抜き中



ローター引抜き完了

### 油タンク(油清浄機)



解体撤去前



解体撤去後

原子力機構の事業の実施にあたっては、安全確保を最優先に、立地地域並びに国民の皆さまのご理解をいただきながら進めてまいります。



# 新型転換炉原型炉ふげん

## 原子炉周辺設備の解体撤去について

廃止措置計画の第2段階である原子炉周辺設備の解体撤去を進めています。2025年3月からは大型機器である原子炉再循環ポンプ（全長6.8m、重量28.5トン）4台の解体撤去を行っており、モータ部とポンプ部を接続している継ぎ手部分を切り離して移動させ、切断作業を行っています。2025年度末の完了に向けて引き続き安全最優先で進めてまいります。

The diagram shows the reactor building interior with the recirculation pump location. Labels include: 全高66m (Total height 66m), 地上1~6階 (Floors 1-6 above ground), 地下1~2階 (Floors 1-2 below ground), 再循環ポンプ (Recirculation pump), 原子炉本体 (Reactor core), 原子炉建屋内部 (再循環ポンプ設置場所) (Reactor building interior (recirculation pump installation location)).

Photographs show the pump before and after dismantling. Labels include: 再循環ポンプ (Recirculation pump), モータ部 (Motor part), 継ぎ手部分(内部) (Joint part (interior)), ポンプ部 (Pump part), 解体撤去前 (Before dismantling), 解体撤去後 (After dismantling), 解体中の様子 (Dismantling process).

## クリアランス対象物の放射能濃度の確認申請について

「ふげん」タービン建屋の機器等の解体撤去作業により発生したクリアランス対象金属のうち、原子炉等規制法に基づき、測定及び評価を行った約40トンの放射能濃度の第8回確認申請を3月6日に原子力規制委員会へ行いました。

引き続きクリアランス制度の理解促進、社会への定着に向け取り組んでまいります。

### 認可を受けたクリアランス測定対象金属(約1,100トン)

- ・確認証受領済:合計 約722トン  
(2018年12月測定開始以後、7回分)
- ・第8回確認申請: 約40トン (3月申請)



クリアランス測定の様子